

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	31件	31,000円	387件	428,258円
財団	1件	13,000円	10件	127,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	3件	50,000円	17件	230,000円

<ロータリー財団委員会>

石野委員長

大西会員からいただきました。引き続きよろしくお願いたします。

<米山奨学委員会>

井上勇委員長

小塚会員→「次女の美和がようやく世帯を持つことができました。これからも変わらないご支援をよろしくお願いたします」。石野会員→「夫の誕生日に素敵なお花をありがとうございました」。大西会員からもいただきました。

本日のプログラム

<招聘卓話>

米山奨学生 傅嘉巍君

今日は私の普段の生活の様子や勉強している成果、奨学金の使い道、今後についてお話しします。

私は横浜美術大学4年生で工業デザインを専攻しています。現在は青葉台に住んでいて自転車通勤しています。学校にはきちんと通っていて、最近の成果としてラグ(カーペット)で賞を取りました。一般的にラグは平面的な構造になりますが、私のデザインしたものは立体的になっているのが特徴です。またプライベートではフィットネスモデルの大会で5位になりました。その際には体脂肪率を13%から6.6%まで下げ、炭水化物の摂取が出来なく大変つらかったです。

みなさんからいただいた奨学金の使い道ですが、そのほとんどは家賃や生活費、貯金、インターネットやスマホ代などです。六本木の麻婆豆腐店でバイトもしています。年間180万円かかる学費は基本親に出してもらっていますがそのうち3~40万円は自分で出しています。

今後は大学院に行って勉強する予定です。日本も中国も人口が高齢化していて、中国は特にユニバーサルデザインがありません。障害者が一般の人と同じ生活スタイルで行動できるデザインをテーマに勉強する予定です。今月に院の試験があるので頑張りたいと思います。卒業制作は古澤会員の協力をいた

だきながら新たな自転車デザインを作っているところです。来年3月にみなとみらいの赤レンガ倉庫で展示されるので、ぜひみなさんでお越しください。

会場には傅嘉巍君のデザインしたラグのデザインボードが設置され写真をみながらの卓話となりました。卓話後には卒業後の進路について、2020年オリンピックでのボランティア協力、中国の都心と地方の格差、来日した時の日本のイメージと今のイメージ、体脂肪の落とし方など、質問にからんださまざまな話がされました。



中村会長より傅嘉巍君に奨学金が渡され、「日本と中国、国際平和の架け橋になるようがんばって下さい」とメッセージが伝えられました。

<点鐘>

中村会長